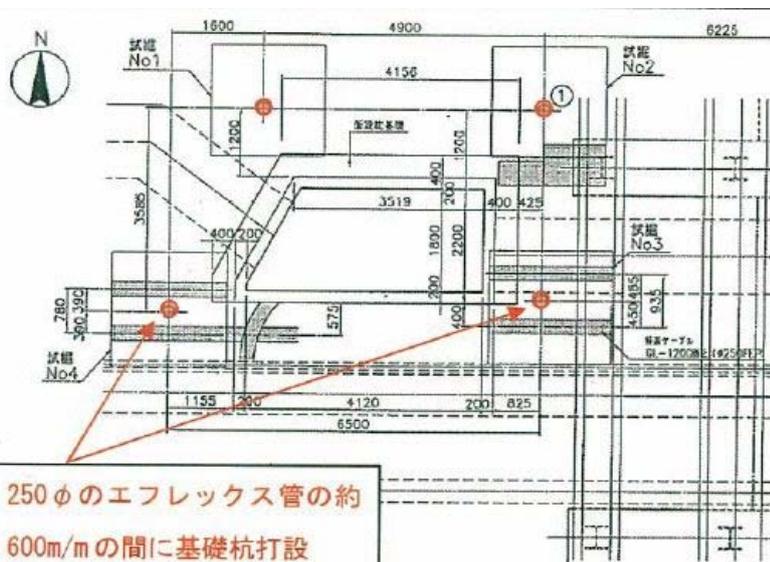


用途	覆工基礎
工事名	大同特殊鋼株式会社 知多工場 特高マンホール補強工事
工事場所	愛知県東海市元浜町 大同特殊鋼(株)知多工場地内
発注者	大同特殊鋼(株)知多工場
施工時期	平成19年10月
杭形状	直杭 27.0m × 4本
杭延長	108.0m
鋼管仕様	STKT590 φ165.2 × 7.1t
標準鋼管長	6.0m
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管 (ケーシング先行削孔+鋼管建込み方式)
削孔機	クローラタイプ(TDH-100)ノーマルブーム
空頭制限	なし
上層地盤	砂・シルト
定着地盤	砂

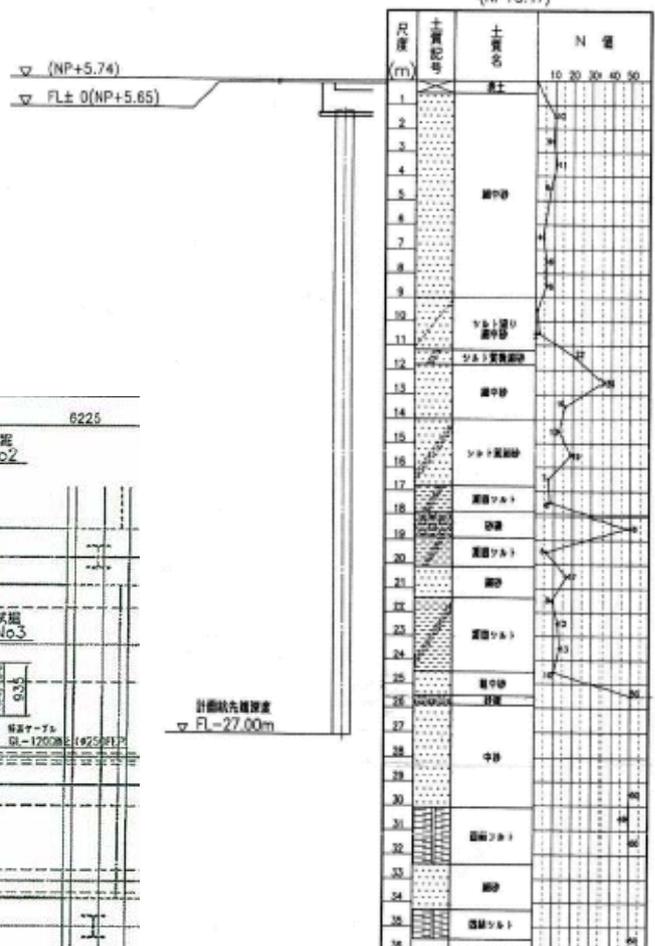
工事の特長

- ・本工事は、通行車両による荷重からマンホールを防護するための補強版工を設置するものである。当初、EZパイル(羽根杭)で計画されていた物件であるが、埋設されている特高ケーブル600mmの間に杭を打設しなければならなかったため、STマイクロパイル(タイプI)に変更された。
- ・施工前の試掘により特高ケーブルの位置を確認後、再度埋め戻して施工基面を確保した。
- ・ケーシング(φ216*16t、内径φ184)で先行削孔し、その中に外径φ165.2の鋼管を建込む方式で施工した結果、水平偏心量14~34mm(平均25mm)の高い精度で施工することができた。
- ・施工能率のアップと杭天端高の精度確保を目的として、上杭の鋼管長を設計より2.0m延長して施工した。
- ・本工事は、工場で半年に一度実施される、一斉メンテナンス(1週間)期間中に、プラントの設置・撤去ならびに杭施工の全てを行なう必要があったため、2パーティーによる24時間体制とした結果、5日間で施工することができた。

概要図



土質柱状図
No.3
(NP+5.47)



施工状況写真



ケーシング削孔状況



鋼管挿入状況



鋼管接続状況



鋼管接続完了



鋼管挿入完了



ケーシング引抜き状況



ボーリングマシン (TDH-100)



プラント全景